

令和3年度 教職キャリア形成支援ガイダンス R3. 12. 1 (水)

教職を目指す大学生に教職実践高度化専攻の現職派遣大学院生3名が講話をいたしました。

発表者

小学校 嶋村 明日華 教諭（香美市立大栃小学校）(M2)

中学校 若松 柚似 教諭（四万十市立中筋中学校）(M2)

高等学校 徳橋 佑哉 教諭（県立幡多農業高等学校）(M2)

①嶋村 明日華 教諭（香美市立大栃小学校）

大学卒業後、県外で一般企業に勤務、専門学校の司書教諭として働いたのち、高知に戻り中学校の講師として学校現場で働き始めました。生徒と接する中で基礎的な学力を身につけることが必要だと思い、通信大学で小学校の教員免許を取得しました。現在は、複式学級のある小学校に勤務しています。主にICTを使った教育実践に取り組んでいます。複式学級の楽しさは、2つの学年の成長を同時に見ることができることをお話ししました。小学校教員の魅力は、「小学校教員は基本的に全科を指導する」楽しさがあること、担任をすると長い時間子どもたちと過ごすことができるだと思います。



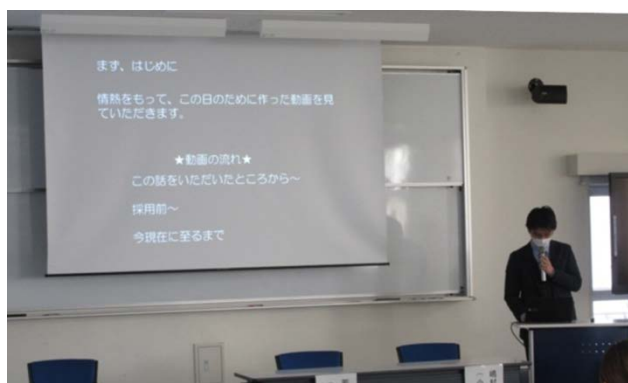
②若松 柚似 教諭（四万十市立中筋中学校）

中学校の特徴について、1)生徒が主体の行事、2)進路指導、3)教科担任制、4)地域との関わりの4つの内容を説明しました。そして、未来の先生になる皆さんへアドバイスになるように発表しました。2)進路指導の説明では、実際に生徒が書いた黒板をお見せして、生徒一人一人が自分と向き合う姿、自分の夢を語る姿、苦しいことから逃げずに頑張る姿を紹介しました。中学校1年生から将来に夢を持って中学校生活を送れるようにするためにはキャリア教育を進めることが大切だというメッセージを将来の先生になる学生に伝えました。



③徳橋 佑哉 教諭（県立幡多農業高等学校）

「高等学校現場での闘い方」というテーマでお話ししました。教育実習で生徒から「先生は先生になった方がいい」という言葉が高等学校の教員を目指すきっかけになったことや、高等学校の教員の仕事で進路指導は自身の経験があったが、「就職指導」初めてであり、苦労したことや、部活動でインターハイ団体に2度出場したことなどを動画にして発表しました。



質疑応答

Q「普通の学級経営で心がけていることは？」（若松先生へ質問）

- ・一番気をつけていることは、問題行動に対しての未然防止や、すぐに対応することです。
- ・ベテランの先生に「生徒の話をよく聞く」というアドバイスを頂いているのでそれを心がけています。
- ・一人で抱え込まずにチームで解決をする。

Q「効率良く仕事するためには？」

- （嶋村）平日は遅くまで仕事をするが、休みの日はいろんなところへ出かける。
- （若松）生徒がいる時間帯は職場にいるが、生徒が帰ると自分も帰るようにしている。
- （徳橋）日本の先生の仕事量は多い。そのことを納得できれば割り切れる。



Q「就職指導を行うにあたり、今のうちにできることはありますか？」（徳橋先生へ）

- ・一度就職活動をしてみると、流れがわかってくる。
- ・高知の企業を知っておく必要がある。企業を知らないと就職指導はできません。

Q「教員の仕事はしんどいことがたくさんあるのではないかと。働き方改革と言われ始めて、どのような変化がありましたか？」

- （徳橋）頼んだこと以上の仕事ができる先生に仕事が集中しがち。均等に仕事を割り振っても偏りは出てくる。「生徒にとって何がベストか」を考えてライン引きが必要。
- （若松）働き方改革によって、月80時間以上働いている人がわかるようになった。職場では、定時退行日が決まっていて、その時は早く帰るようになっている。部活動については、土日のどちらかは休みにするようになっている。
- （嶋村）校務分掌の偏りがある。
事務仕事に時間がかかる。最近は、事務仕事にもICTが入ってきたが、今はまだアナログとの移行期なので、時間がかかるものもある。
予算がつく代わりに、研究発表などの研修があるのも現実。
今はまだ働き方改革の恩恵を受けているとは思っていない。

Q「学級経営に関わって、自分のクラスに話を聞かない生徒がいた場合、どのような指導をしますか？」

- （若松）反抗的な態度、指示を聞かないなどの態度が続く場合、早めに対応をチームで考える。部活動の顧問など関係性のある先生に協力してもらおう。本人とどのようにしていきたいかを考える。
- （嶋村）発達障害や、発達障害の特性のある児童の場合、SCやSSWの方にも協力してもらおう。その子なりの目標を立てて近づいていくようにしていく。
- （徳橋）集団の場面で聞けない生徒もいれば、個別で話しても通じない生徒もいる。特性と捉えたり、

人の話を聞くことの心構えをしたりすることも大事だと思う。

☆学生さんに向けてのメッセージ

(若松) 見かけたら声をかけてください。フレッシュな話を聞くと、自分自身が変わったりします。お話を聞けたら嬉しいです。

(嶋村) 責任感という印象はあると思いますが、この仕事は楽しいという気持ちの方が大きいです。楽しく仕事をしたいです。

(徳橋) 楽しくやれたら一番。仲間を作りながら実践してください。

